

教育目標

ひらこう世界へ
のびようともに
つくろう夢を
こえよう自分を

紙面から

より良い日野第三中学校・就学相談 …… 1
小学校の窓 …… 2~3
生涯学習 …… 4



日野第三中学校をより魅力ある学校にするプロジェクト

英検学習教室・放課後補習教室の実施

【英検学習教室】

4月新学期がスタートしてから、英語コーディネータと英語科教員とで指導方法、指導内容、教材などを検討し準備を進め、4月16日(金)に、ガイダンスを開催しました。希望者は90名で、全校生徒の4割近くが登録しました。実施日は、毎週水曜日で、授業後の3時から1時間です。生徒たちは、5級、4級、3級、準2級のうち挑戦する級のクラス別で学習していきます。部活動の顧問と相談しながら、曜日を選んで部活動と両立する生徒もいます。



がについて個別対応をします。

4月19日(月)に、第1回の英検学習教室をスタートしました。5月からは、パソコン室でのICTを活用した学習が準2級・3級でスタートし、一層個別に応じた学習が進められています。

生徒たちは、それぞれの目標達成に向けて着実に努力を続けています。

6月11日(金)には、本校において第1回英語検定を実施しました。受験人数は、40人でした。学校で受験できるので、生徒たちは、普段慣れ親しんだ会場で受けられることがメリットでした。

今後は、近隣の小学校で英検学習教室や英語検定に参加を希望する生徒もいます。

学習教室は、英語コーディネータを中心に、学生サポーター

望する児童がいる場合は、保護者の方が中学校までの送迎等が可能であれば、参加できるようにしていく予定です。

【放課後補習教室】

5月20日にガイダンスを行い、25日にスタートしました。

中学校では、部活動があるため、補習教室は、毎日行っています。部活と補習教室を両立したい生徒が参加できるようにするためです。補習コーディネータを中心に学生サポーターが補助に入ります。登録者は75人で、曜日ごとに参加人数は異なりますが、平均20人程度の少数で、きめ細かな支援ができるようになっていきます。試験前ともなると、参加者は毎日40人程になります。三中の先生たちも大勢入ります。生徒は、それぞれが教えてほしい教科の問題等を持ってきて、分からない所を先生に質問しています。きめ細かな指導ができています。

【入級・転学相談のご案内】
市内小・中学校の通常の学級に在籍している児童・生徒で、通級指導学級への入級、また、通常の学級から特別支援学級への転学を希望されているお子さんを対象に入級・転学相談を実施しています。

【就学相談を実施します】

来年度小学校または中学校へ就学・進学を予定されているお子さんを対象に就学相談を行います。

心身に障害があると思われるお子さん、気になる様子や行動が見られるなどのお子さんが、適切な教育を受けることができるにはどのような教育環境が望ましいのか、就学相談員が保護者の方々に必要な情報を提供し、丁寧な相談を進めていきます。

保護者と十分な相談を行った後、適正な就学先について助言する「就学相談委員会」を行います。

【平成22年度就学相談委員会開催日程(全6回予定)】

- 第1回平成22年9月18日
- 第2回平成22年10月30日
- 第3回平成22年11月20日
- 第4回平成22年12月11日
- 第5回平成23年1月15日
- 第6回平成23年1月29日

(いずれも土曜日の午後開催。右記のいずれかに出席していただきます。)

ての助言をする「入級・転学相談委員会」を行っています。

【平成22年度入級・転学相談委員会開催日程(7月分以降の予定)】

- 第3回平成22年7月16日
- 第4回平成22年8月27日
- 第5回平成22年10月8日
- 第6回平成22年11月5日
- 第7回平成22年12月3日
- 第8回平成23年1月21日
- 第9回平成23年2月18日
- 第10回平成23年3月11日

【各相談について、就学相談員が相談等を行っております】

◇相談受付

・月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)

・午前9時から午後4時まで

◇相談方法

・電話相談、来所相談(事前に電話連絡を)

◇相談申込み、問い合わせ

「特別支援教育推進チーム」
電話585・1111(内線5262)

インゲン豆の実験

京極 澄子



名古屋大学大学院のグループがインゲン豆を使った実験をしました。インゲン豆のつるは普通、右巻きに伸びていく性質があります。そこで、つるをまっすぐに固定して伸ばした時と左巻きに固定して伸ばした時の収穫量を調べました。その結果、自然に伸びた右巻きのものに対してまっすぐ伸ばしたものは一・五倍、左巻きに伸ばしたものはなんと二倍の収穫量になったのです。

このグループは、「インゲン豆は厳しい環境に置かれ、緊張状態が生じて代謝が活発になり普通以上の力を発揮したのだらう。」と報告しています。

「緊張状態」は人が育つ時にも必要です。勝手気ままでは、成長は望めません。子供に適度な我慢や緊張、厳しさを経験させたいものです。その結果、秘められていた可能性が揺さぶられ発揮されていきます。インゲン豆の実験がそのことを教えてくれています。

(学校課)